

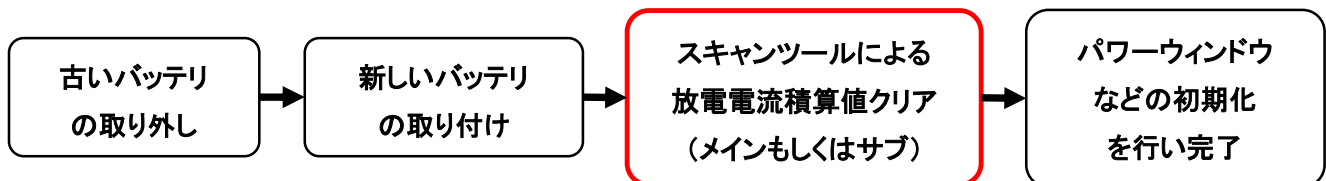
## 日立ダイアグノスティックツールHDM-8000操作ガイド アイドルストップ機能付日産車のバッテリー交換

### 注意事項/必ずお読みください

- 実際の作業に当たっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で作業手順、作業上の注意点をご参照の上、作業を行って下さい。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更される為、本資料に掲載する機能が使用できない場合がございます。

### 1.日産車のバッテリー交換作業について

- 日産自動車から販売されているアイドルストップ付車両の内、メインバッテリー、もしくはサブバッテリーの交換に当たってはコントロールユニット側が記憶している放電電流積算値クリアを行う車両があります。
- また、バッテリーのマイナス端子を外した場合、パワーウィンドウ等の初期化が必要になります。**初期化が未実施の場合、パワーウィンドウの挟み込み防止機能、オートアップ作動機能、タイマ作動機能は作動しません。**



### 2.HDM8000放電電流積算値クリア対応車両

下表の車両が対象となります。(2019年5月現在/アイドルストップ付車両。e-POWER車は除く。)

車両名	基本型式	販売開始時期
マーチ	K13	2010年07月～
キューブ	Z12	2012年10月～
ノート(※)	E12	2012年09月～
ジューク	F15	2013年08月～
スカイライン	V37	2014年06月～
セレナ(S-HYBRID)(※)	C26	2010年11月～
	C27	2016年08月～
エクストレイル	T32	2013年12月～

※: e-POWER車ではスキャンツールによる放電電流積算値クリアは行いません。

(次ページへ続きます)

### 3.HDM-8000操作手順

以下の手順で操作を行って下さい。(以下の操作手順はHDM-8000のユーザー登録、診断ソフトやアプリのインストール等の初期設定が完了している状態を想定して作成しております。)

#### 【手順001/バッテリーの交換】

- ① 整備解説書をご参照の上、メインバッテリーもしくはサブバッテリーの取り外し、取り付けを行って下さい。
- ② バッテリーの交換作業が完了しましたら【手順002】へ進みます。



#### 【手順002/車両へのHDM-8000の接続と起動】

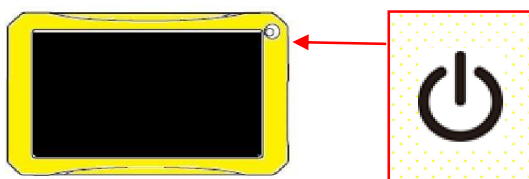
- ①HDM-8000のインターフェースボックスを車両側の診断コネクタに接続して下さい。




- ②HDM-8000のインターフェースボックス本体側 LED が緑色に点灯していることを確認して下さい。



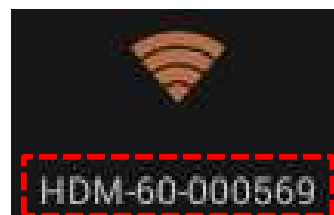
- ③HDM-8000のタブレット本体の右側面にある電源スイッチを押して、タブレットを起動して下さい。



- ④タブレットが起動しましたら画面上のカギのマーク  に指を当てて右側にスライドさせて、画面ロックを解除して下さい。
- ⑤タブレットとインターフェースボックスが無線(Wi-Fi/ワイファイ)で接続されているか確認を行います。まず、「車両一覧」画面が表示されましたら画面右上に指を当てて、そのまま下におろして「クイック設定ツール」を表示して下さい。



- ⑥「クイック設定ツール」内にあるWi-Fi(ワイファイ)のアイコンが右図の様に色が反転した状態で表示され、その下にHDM8000のインターフェースボックスのシリアル番号(右図の破線で囲われた文字列)が表示されていれば無線での接続がされております。次の【手順003】に進みます。



(次ページに続きます)

### 【手順003/クイック設定ツールの終了】

「クイック設定ツール」の下端部に指を当てて、そのまま上方に上げて「クイック設定ツール」を終了させて下さい。



### 【手順004/車両側のイグニッションキーON】


- インテリジェントキー付車(エンジンスイッチ付車):ブレーキペダルを踏まないでエンジンスイッチを2回押す。
- リモートコントロールエントリーシステム付車:キースイッチをONの位置にする。

### 【手順005/「故障診断」のタップ】

① タブレットの「車両情報」の欄(赤の破線で囲われた部分が空欄であることを確認して下さい。)(※1、※2)



※1:「車両情報」の欄に作業中の車両と異なる車両の情報が表示されている場合は画面下部の「戻る」

 ボタンをタップすると空欄になります。

※2:車両情報(車検証の情報)が登録済で、かつ健康診断やデータ保存を実行している車両では12～13ページの操作方法を行うことで【手順006】～【手順008】の操作が省略可能です。

② 画面上部の「故障診断」ボタンをタップして下さい(【手順006】に進みます)。

【アプリ設定をフル機能モードに設定している場合】



【アプリ設定を故障診断モードに設定している場合】



(次ページに続きます)

### 【手順006/メーカー選択】

画面に「接続中...しばらくお待ちください」が表示されたあと「メーカー選択(診断ソフトの選択画面)」が表示されます。「日産/インフィニティ」をタップして下さい。



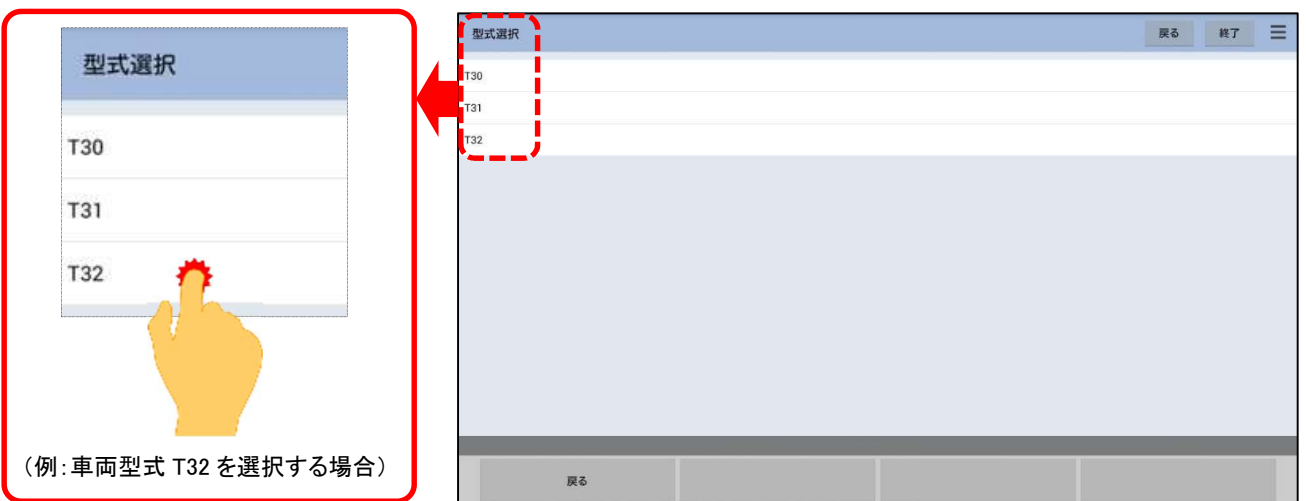
### 【手順007/車種選択】

診断ソフト名称が表示された後、「車種選択」が表示されます。一覧から該当する車種名をタップして下さい。



### 【手順008/型式選択】

「型式選択」の画面が表示されましたら該当する車両型式をタップして下さい。



(次ページに続きます)

### 【手順009/メインメニューで作業サポートを選択】

メインメニューが表示されましたら「作業サポート」をタップして下さい。



### 【手順010/作業サポートのシステム選択画面の表示】

「車両搭載システム選択中しばらくお待ちください」の画面が表示され、作業サポートが実行出来るシステムの確認を開始します。暫くすると作業サポート画面(システム選択)が表示されます。



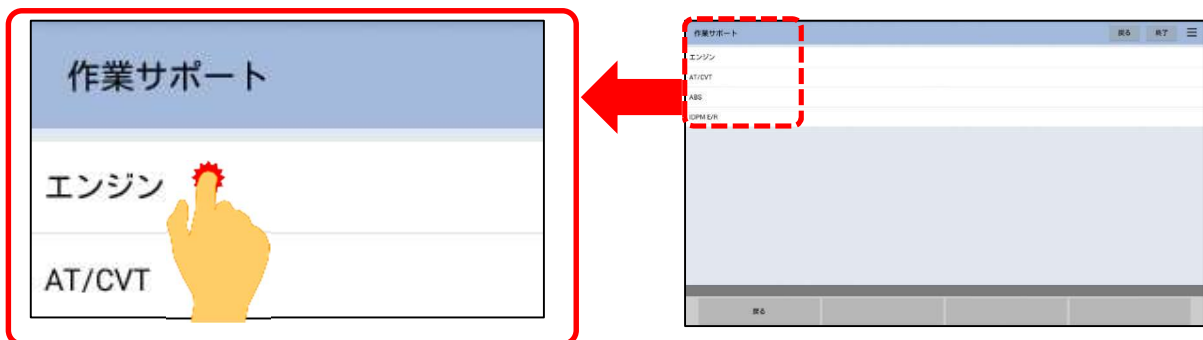
### 【手順011/手順の選択】

車両や交換したバッテリーに応じて以下から手順を選択して下さい。

- **エクストレイル(T32)以外の日産車**のメインバッテリー、サブバッテリーを交換した場合⇒手順012に進みます。
- **エクストレイル(T32)**のメインバッテリーを交換した場合⇒11ページの手順 B01に進みます。

### 【手順012/エクストレイル(T32)以外の日産車でメインバッテリー、サブバッテリー交換の場合】

「エンジン」をタップします。



(次ページに続きます)

### 【手順013/型式選択】

「エンジン作業サポート」のメニュー画面が表示されます。下図を参照の上、実行する機能を選択して下さい。

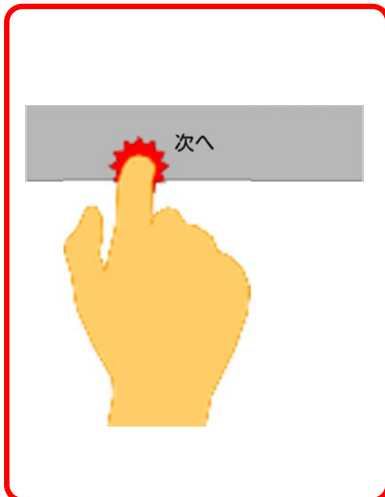
エンジン作業サポート
吸入空気量学習
燃圧除去
空燃比学習
スロットル全閉位置学習
アイドル回転補正
バッテリー放電電流積算クリア
空燃比初期学習
サブバッテリー放電電流積算値クリア

メインバッテリーを交換した場合は「バッテリー放電電流積算値クリア」をタップします。⇒次の手順014へ進みます。

サブバッテリー(セレナ等)を交換した場合は「サブバッテリー放電電流積算値クリア」をタップします ⇒10ページの手順 A01へ進みます。

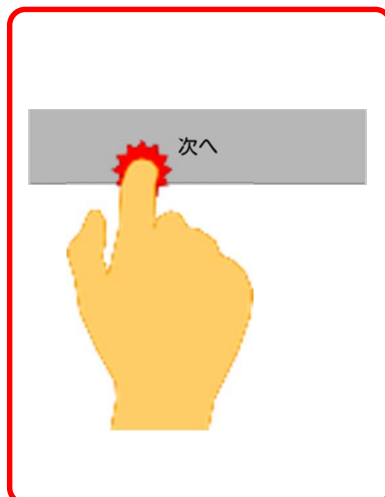
### 【手順014/バッテリー放電電流積算値クリアの起動】

機能が起動し、機能の内容を説明する画面が表示されましたら画面左下の「次へ」をタップして下さい。



### 【手順015/リセット基準値の表示】

リセットの基準値の画面が表示されましたら画面左下の「次へ」をタップして下さい。



(次ページに続きます)

### 【手順016/消去の実行】

車両側が記憶している積算値と「データを消去しますか？」が表示されます。画面左下の「実行」をタップします。



### 【手順017/消去の完了】

「イニシャライズ中しばらくお待ちください」の表示の後、「正常に完了しました」が表示されましたら消去完了です。



### 【手順018/車両各部の設定】

バッテリーのマイナス端子取り外しを行った際、車両毎で所定の箇所の初期化設定を行う必要があります。下表と8～9ページの手順一覧を参照の上、設定を行って下さい。

車両	初期化を実施する箇所					
	パワーウィンドウ	オート ドライビング ポジションナ	リモコンオート スライドドア	リモコン オートバックドア	舵角センサ 中立点補正	ダイレクト アダプティブ ステアリング
マーチ (K13)	○				○	
キューブ (Z12)	○					
スカイラン (V37)	○	○				○
エクストレイル (T32)	○			○		
ジューク (F15)	○					
ノート (E12)	○					
セレナ (C26)			○			
セレナ (C27)	○		※			

※インテリジェントキー付車



## バッテリー・マイナス端子取り外し時の初期化設定作業一覧(2019年5月現在)

本一覧は作業内容の紹介を目的としたものですが、作業手順等は自動車メーカーにより予告なく変更される為、実施の際は車両の発売年月日、仕様変更に応じて改訂された自動車メーカー発行の整備解説書を必ずご参照下さい。

設定箇所	初期化設定手順
パワーウィンドウ	<p><b>手順1:初期化設定手順</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① キースイッチを ON にします。</li> <li>② パワーウィンドウスイッチを操作してガラスを半開以上にします(既にガラスが半開以上の時、この操作は不要です)。</li> <li>③ パワーウィンドウスイッチをオートアップ作動位置まで引き上げ続け、ガラスが全閉位置で停止した後もスイッチを2秒以上引き上げ続けて下さい。</li> <li>④ オートアップ作動点検を実施し、正常に動作することを確認して下さい。</li> </ol> <p><b>手順2:挟み込み防止機能点検</b></p> <p>※1:下記①～③の点検においては、絶対に身体の一部を挟み込ませる様な点検は行わないで下さい。また身体の挟み込みに、ご注意下さい。</p> <p>※2:システムの初期化を行った場合はオートアップ作動機能が働くことを確認してから点検を行って下さい。</p> <p>※3:オートアップ作動機能、挟み込み防止機能がうまく作動しない場合は初期化設定を実施して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ドアガラスを全開にして下さい。</li> <li>② 木片等を全閉位置付近に設置して下さい。</li> <li>③ オートアップでドアガラスを全開作動させて下記(ア)(イ)を確認して下さい。             <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 木片等を挟み込まずにガラスが反転し、約150mm下降した後、停止することを確認して下さい。</li> <li>(イ) 反転下降中、パワーウィンドウスイッチを操作してもガラスが上昇しないことを確認して下さい。</li> </ul> </li> </ol>
舵角センサ中立点調整	<ol style="list-style-type: none"> <li>① キースイッチを ON にする。</li> <li>② ステアリングを左右一回ずつフル転舵して下さい。</li> </ol>
リモコンオートスライドドア	<ol style="list-style-type: none"> <li>① オートスライドドア開閉スイッチ、またはオートスライドドアワンタッチ開閉スイッチを操作してオート開機能を作動させる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 未初期化状態ではスライドドア位置に関わらず最初は開作動を行います。</li> </ul> </li> <li>② スライドドアを全開位置で停止させた後、オートスライドドア開閉スイッチ、またはオートスライドドアワンタッチ開閉スイッチを操作してオート閉機能を作動させて下さい。</li> <li>③ 作動中の異音、または誤作動の有無を確認して下さい。</li> <li>④ オートスライドドアブザーの作動を確認して下さい。</li> </ol> <p>※スライドドアのオート開閉作動を行う場合、ドアが確実に全閉、または全開位置に達するまでスライドドアに触れたりしないで下さい。また異物、身体の挟み込みに、ご注意下さい。</p>

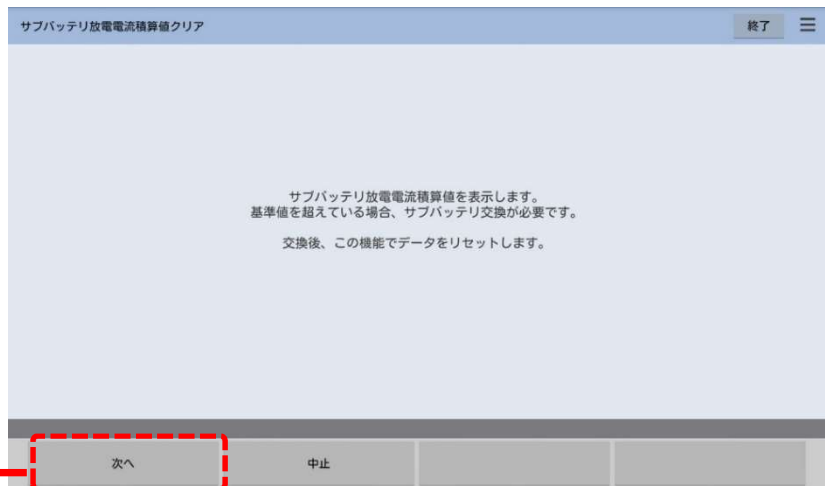
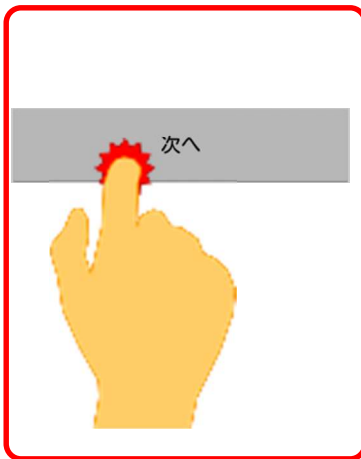
(次ページに続きます)



設定箇所	作業手順
オートバックドア	<p>① 手動操作でバックドアを全閉状態にして下さい。(既にバックドアが全閉状態であれば、この作業は不要です。)</p> <p>② バックドアのオート開作動を行って下さい。</p> <p>③ 作動中の異音、または誤作動の有無を確認して下さい。</p> <p>※:バックドアのオート開作動を行う場合、ドアが確実に全開位置に達するまで、バックドアに触れないで下さい。また異物、身体の挟み込みに、ご注意下さい。</p>
オートドライビングポジション	<p><b>手順1:システム初期化</b> 下記の A、B いずれかの手順を行って下さい。</p> <p><b>システム初期化手順 A</b></p> <p>① キースイッチを ACC ポジションから OFF ポジションにしてください。</p> <p>② 運転席ドアを開く(ドアスイッチを ON)⇒閉める(ドアスイッチを OFF)⇒開く(ドアスイッチを OFF)の操作を行って下さい。</p> <p><b>システム初期化手順 B</b> 時速25km以上で走行して下さい。(周囲の状況にご注意下さい)</p> <p><b>手順2:ドライビングポジション登録</b></p> <p>① キースイッチを ON、セレクタレバーを P 位置にして下さい。</p> <p>② シート、ドアミラーを登録する位置へ調整して下さい。</p> <p>③ セットスイッチを押して下さい。 ・メモリインジケータ0.5秒間点灯:未登録 ・メモリインジケータ5秒間点灯 :登録</p> <p>④ セットスイッチを押してから5秒以内にメモリスイッチ(1または2)を1秒以上押して下さい。※登録が正常に完了するとメモリインジケータが5秒間点灯します</p> <p>⑤ メモリ機能を実行し、各部位が正常に動作することを確認して下さい。</p> <p><b>手順3:インテリジェントキー連動機能の登録</b></p> <p>① キースイッチOFFでセットスイッチを押して下さい。(登録されているメモリのメモリインジケータが5秒間点灯します。)</p> <p>② 連動させたいメモリのメモリスイッチを押しながら、インテリジェントキーのアンロックボタンを押して下さい。(登録が行われた場合は、その時点から該当するメモリインジケータが5秒間点灯します)</p> <p>③ インテリジェントキー連動機能を実行し、各部位が正常作動するか確認します。</p> <p><b>手順4:設定変更</b></p> <p>① キースイッチをOFFにして下さい。</p> <p>② セットスイッチを10秒以上押して下さい。この時、メモリインジケータの点滅を確認して下さい。 ・メモリインジケータ2回点滅:退避/復帰機能ON ・メモリインジケータ1回点滅:退避/復帰機能OFF</p>
ダイレクトアダプティブステアリングシステム	<p>① ステアリングホイールを直進状態にして下さい。</p> <p>② バッテリ端子を取り付けて下さい。</p> <p>③ 車両をREADY状態、またはエンジンを始動状態にして下さい。</p> <p>④ ステアリングホイールを左右いっぱい操舵して下さい。</p> <p>⑤ ステアリングの操作状態が正常であることを確認して下さい。</p>

### 【手順 A01/サブバッテリー放電電流積算値クリアの起動】

機能が起動し、下図の画面が表示されましたら画面左下の「次へ」をタップして下さい。



### 【手順 A02/基準値と現在値の表示】

「イニシャライズ中しばらくお待ちください」の表示後、下図が表示されましたら画面左下の「実行」をタップします。



### 【手順 A02/基準値と現在値の表示】

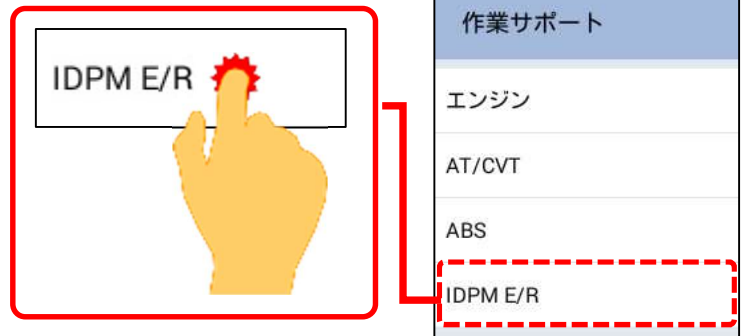
「実行中」が表示された後、下図の様に「正常に完了しました」が表示されましたら完了です。「終了」をタップして車両からHDM8000を取り外した後、7ページの【手順018】へ進みます。



## エクストレイル(T32)でのバッテリー放電電流積算値クリアの実手順

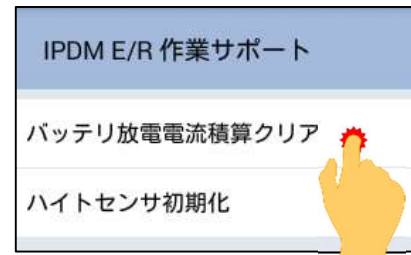
### 【手順 B01/「IDPM E/R」の選択】

「作業サポート」メニューで「IDPM E/R」をタップして下さい。



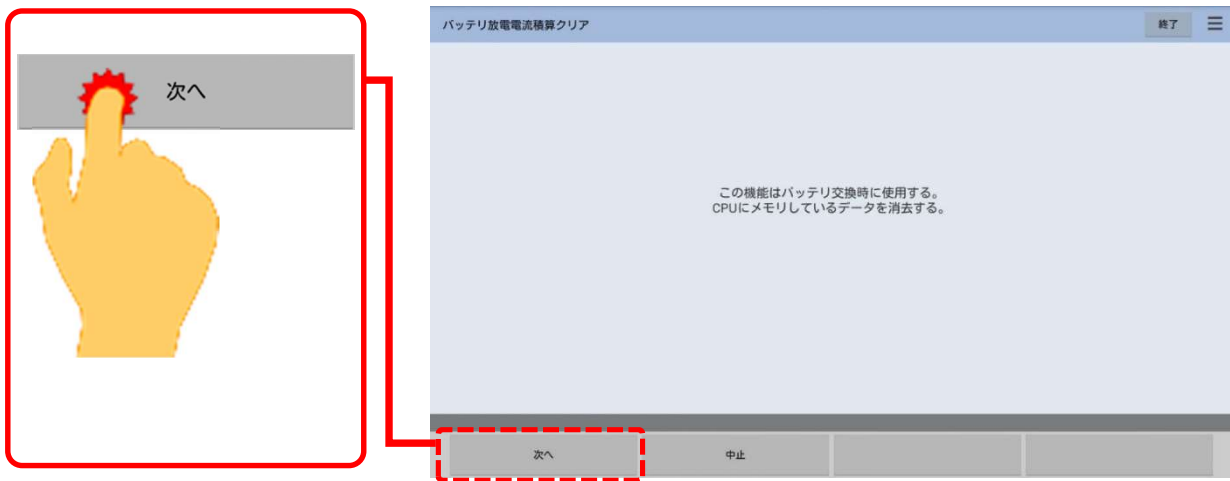
### 【手順 B02/IPDM E/Rでのバッテリー放電電流積算値クリアの起動】

「IPDM E/R 作業サポート」のメニュー内にある「バッテリー放電電流積算クリア」をタップします。



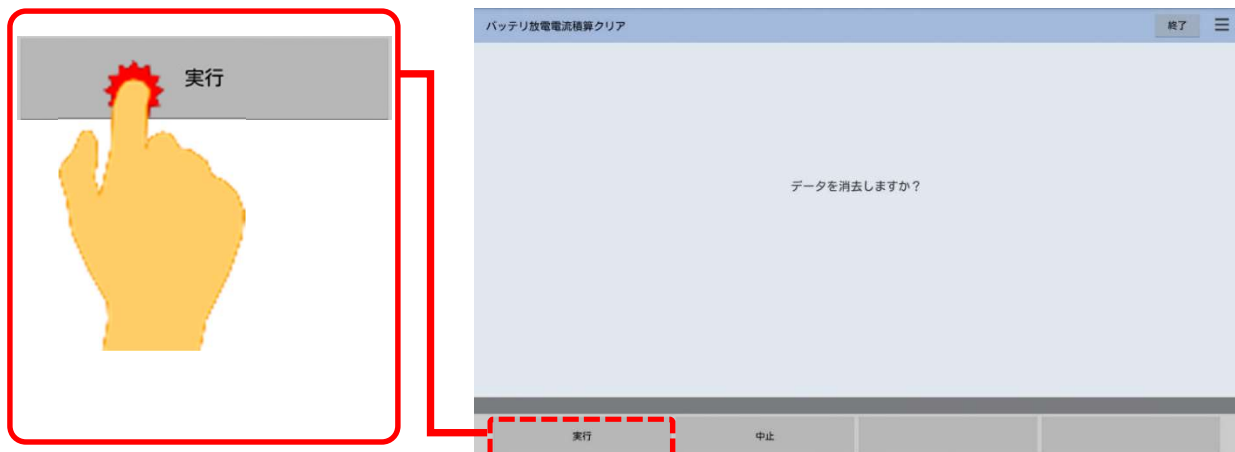
### 【手順 B03/基準値と現在値の表示】

下図が表示されましたら画面左下の「次へ」をタップします。



### 【手順 B04/消去の実行】

「データを消去しますか？」と表示されましたら画面左下の「実行」をタップして下さい。最後に完了のメッセージが表示されましたら HDM8000 を車両から取り外した後、7 ページの【手順 018】へ進みます。



**【手順C01/登録済みの車両情報の検索の開始】**

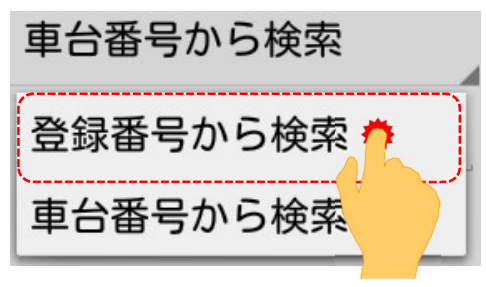
「車両一覧」の画面の左側に表示されている「登録番号から検索」をタップして下さい。



**【手順C02/検索方法の選択】**

設定ボタンの下に選択肢が表示されます。いずれかをタップして下さい。

※:「登録番号から検索」の場合、車両のナンバープレート番号での検索となります。



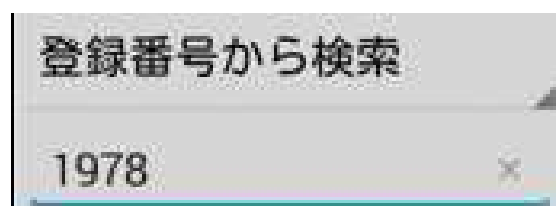
**【手順C03/キーボードの表示】**

検索方法の選択が完了されましたら、検索方法の選択欄の下にある、番号の入力欄をタップして下さい。キーボードが表示されます。



**【手順C04/登録番号の入力】**

キーボードを使用して登録番号を入力すると、入力欄に番号が表示されます。



(次ページに続きます)

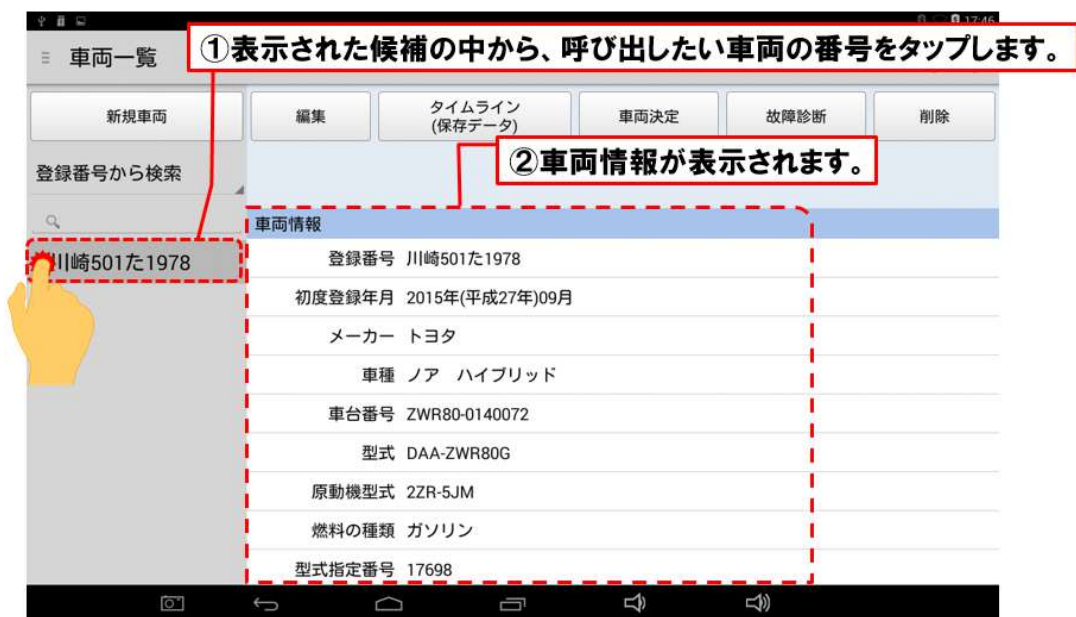
### 【手順 C05/車両情報の検索】

車両の登録番号の入力が完了しましたら、最後にキーボードの右下にある虫メガネのボタンをタップして下さい。



### 【手順 C06/車両情報の検索】

画面左側に【手順C05】で入力した番号に該当する候補が表示されますので、下図の様に操作して呼び出したい車両情報を表示させて下さい。



### 【手順C07/故障診断の起動】

画面上部の「故障診断」ボタンをタップして下さい。(5ページの【手順009】に進みます)。

【アプリ設定をフル機能モードに設定している場合】



【アプリ設定を故障診断モードに設定している場合】

